Bluetoothオプティカルマウス 取扱説明書

400-MA021

最初にご確認ください

セット内容
- ●マウス本体 ……1台
- ●単四乾電池 ……2本
- ●取扱説明書 ……1部

本取扱説明書の内容は、予告なしに変更になる場合があります。
最新の情報は、弊社WEBサイト(http://www.sanwa.co.jp/)をご覧ください。

デザイン及び仕様については改良のため予告なしに変更することがございます。
本書に記載の社名及び製品名は各社の商標又は登録商標です。

サンワサプライ株式会社

目 次

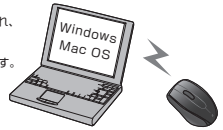
1 マウスの接続手順
2 特長
警告
3 注意
健康に関する注意
4 対応機種・対応OS
5 マウスの準備(電池の入れ方、電源のON・OFF)
6 ペアリング操作 Windows 7・Vista・XP(SP2)の場合
8 IVT BlueSoleilを使用する場合
9 WIDCOMM BTWを使用する場合
11 Mac OS Xの場合
12 TOSHIBA Softを使用する場合
16 本製品の使用方法
17 「故障かな……」と思ったら
18 保証規定

マウスの接続手順

対応OSを確認します。
→P.4

マウスに付属の乾電池を入れ、電源スイッチをONにします。
→P.5

コンピュータの電源を入れ、Windowsを起動します。Bluetoothのペアリング操作を行います。
→P.6～



詳細は各ページをご覧ください。

特 長

このたびはBluetoothオプティカルマウスをお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

本製品はBluetooth規格に対応し、Bluetooth内蔵のパソコンにレシーバーなしで接続ができます。2.4GHz RF対応なので電波障害を受けにくく、半径約10mの範囲で通信が可能です。

本製品は光学センサーエンジンを搭載しており、スムーズで自然な入力感を実現します。手首一振りで画面の端までカーソル移動が可能な800カウント高分解能。省スペース・スピーディで快適な入力作業を実現します。

※ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みください。また、お手元に置き、いつでも確認できるようにしておいてください。

警 告

■テレビ/ラジオの受信障害について
本製品は、FCCの定めるクラスBのコンピュータ機器に対する許容条件につき、所定の審査の上、FCC-15章の規定内容に適合するものとして認定されています。FCC-15章は居住環境において防止すべき受信障害の規制基準を定めたものですが、装置の設置状況によっては受信障害が発生する場合があります。

ご使用のコンピュータシステムが受信障害の原因となっているかどうかは、そのシステムの電源を切ることでご確認いただけます。電源を切ることにより受信障害が解消されれば、ご利用のコンピュータ、あるいは、その周辺装置が原因であると考えられます。

ご使用のコンピュータシステムがテレビやラジオの受信状態に影響している場合、以下の手順のいずれか、あるいはいくつかを組み合わせてお試しください。

- ●テレビまたはラジオのアンテナの向きを変え、受信障害の発生しない位置を探してみてください。
- ●テレビまたはラジオから離れた場所にコンピュータを設定し直してください。
- ●テレビまたはラジオとは別の電源供給路にあるコンセントにコンピュータを接続してください。
- ●状況に応じ、テレビ/ラジオの修理業者またはマウスの販売店にもご相談いただけます。

注 意

- ●本製品およびソフトウェアを使用したことによって生じた動作障害やデータ損失などの損害については、弊社は一切の責任を負いかねます。
- ●本製品はBluetooth対応のすべての機器との接続動作を保証したものではありません。
- ●本製品は一般的な職場やご家庭での使用を目的としています。本書に記載されている以外でのご使用にて損害が発生した場合には、弊社は一切の責任を負いません。
- ●医療機器や人命に直接的または間接的に関わるシステム、高い安全性や信頼性が求められる環境下で使用しないでください。
- ●高い安全性や信頼性が要求される機器や電算機システムなどと直接的または間接的に関わるシステムでは使用しないでください。
- ●飛行機の通信システムを妨害する恐れがありますので、飛行機で本製品を使用しないでください。
- ●ペースメーカーなどの医療機器を使用している方は、医師に相談の上で使用してください。

■ Bluetoothについて
- ●本製品の使用周波数帯では、産業・科学・医療用機器等のほか、工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局(免許を要する無線局)及び特定小電力無線局(免許を要しない無線局)が運用されています。
- ●本製品を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局及び特定小電力無線局が運営されてないことを確認してください。
- ●万一、本製品から移動体識別用の構内無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合には、使用場所を変えるか、速やかに電波の発射を停止してください。

■ 良好な通信のために
- ●他の機器と見通しの良い場所で通信してください。建物の構造や障害物によっては、通信距離が短くなります。特に鉄筋コンクリートなどを挟むと、通信不能な場合があります。
- ●Bluetooth接続においては、無線LANその他の無線機器の周囲、電子レンジなど電波を発する機器の周囲、障害物の多い場所、その他電波状態の悪い環境で使用しないでください。接続が頻繁に途切れたり、通信速度が極端に低下したり、エラーが発生したりする可能性があります。
- ●IEEE802.11g/bの無線LAN機器と本製品などのBluetooth機器は同一周波数帯(2.4GHz)を使用するため、近くで使用すると互いに電波障害を発生し、通信速度が低下したり接続不能になったりする場合があります。この場合は、使用しない機器の電源を切ってください。
- ●無線機や放送局の近くで正常に通信できない場合は、使用場所を変更してください。

健康に関する注意

マウスやトラックボール、キーボードを長時間操作すると、手や腕や首、肩などに負担が掛かり痛みや痺れを感じることがあります。

そのまま操作を繰り返していると、場合によっては深刻な障害を引き起こす恐れがあります。マウスやキーボードを操作中に身体に痛みや痺れを感じたら、直ちに操作を中止し、場合によっては医師に相談してください。

また日常のコンピュータ操作では定期的に休憩を取り、手や腕や首、肩など身体に負担が掛からないように心がけてください。

対応機種・対応OS

■対応機種
- ●Windows搭載パソコン　各社DOS/Vパソコン、NEC PC98-NXシリーズ
- ●Apple Macシリーズ(Mac Pro、Mac mini、MacBookシリーズ、iMac、Power Macシリーズ、PowerBookシリーズ、iBookシリーズ)

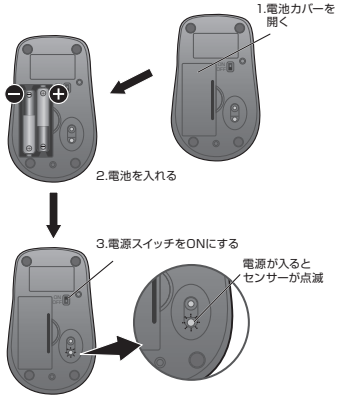
※Bluetoothモジュールを標準内蔵している機種
※Bluetoothモジュールを内蔵していないWindows搭載パソコンでご使用の際は、別途Bluetooth USBアダプタなどをお求めください。

■対応OS
- ●Windows 7・Vista・XP(SP2)・2000
- ●Mac OS X(10.3以降)

※Mac OS X(10.3以降)は、標準インストールされているSafari、Mail、テキストエディット及びFinderなど、OS標準ドライバでスクロール可能なアプリケーションでのみスクロール可能です。ホイールボタン押下げによる動作はサポートしません。
※機種により対応できないものもあります。
※この文章中に表記されるその他すべての製品名などは、それぞれのメーカーの登録商標、商標です。

マウスの準備(電池の入れ方、電源のON・OFF)

1.裏面の電池カバーを開きます。
2.付属の単四乾電池をマウスに入れます。※正しい極性で入れてください。
3.電池カバーをカッチリ閉じたらマウス裏面の電源スイッチをONにします。(電源スイッチをONにすると、センサーが点滅します。ここで、電池が正しく入っているかどうか確認できます)
4.ペアリング操作(マウスとパソコンを互いに認識させる作業)を行います。
※マウスを長時間使用しない場合や携帯する際に光学センサーが点灯していると電池を消耗しますので、電源をOFFにすることをお勧めします。
※空になった電池をマウス本体内にそのまま置いておくと液漏れの原因になりますので、取り出しておいてください。



※電池が少なくなったら、表面のホイールのLEDが赤く点滅します。その際には電池を入れ替えて下さい。

ペアリング操作の方法は、次のページから説明します。 □□⇨

ペアリング操作 Windows 7・Vista・XP(SP2)の場合

1.マウス裏面のIDボタン(ペアリングボタン)を2秒ほど押すと、BLUE LEDが点滅します。

2. コントロールパネルを開き、Bluetoothデバイスをダブルクリックします。

3.「追加」をクリックしてください。

4.「セットアップを完了し、デバイスは発見可能になりました」を選択し、「次へ」をクリックします。

ペアリング操作 Windows 7・Vista・XP(SP2)の場合 (続き)

5. Bluetoothデバイスの追加ウィザード画面が表示されます。

6.「Bluetooth Mouse」を選択し、「次へ」をクリックしてください。

7.「パスキーを使用しない」にチェックを入れ、「次へ」をクリックします。

8. Windowsが「Bluetooth Mouse」との接続を自動的に開始します。

ペアリング操作　Windows 7・Vista・XP(SP2)の場合（続き）

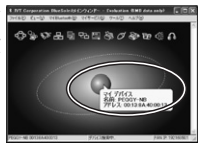
9. ドライバがインストールされ、通信できる状態になりました。

10. 一度接続が確立すると、リセット等を行わない限り、本製品とパソコンの接続は永続的に維持されます。

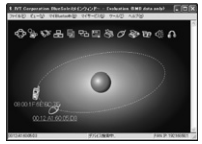
ペアリング操作　IVT BlueSoleilを使用する場合

1. マウス裏面のIDボタン(ペアリングボタン)を押し、ホイールのLEDが点滅している状態で、デスクトップにある「BlueSoleil」アイコンをダブルクリックします。

   メイン画面の「マイ デバイス」アイコンをダブルクリックしてください。



2. 新しいBluetooth機器を検索開始します。



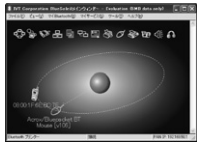
ペアリング操作　IVT BlueSoleilを使用する場合（続き）

3. マウスが見つかったら、「Bluetooth mouse」を選択してください。
   HIDプロファイルのアイコンが黄色になります。
   このアイコンを右クリックして「接続」を選択すると、接続が開始されます。

4. 接続が始まると、BlueSoleilが自動的にHIDドライバのインストールを開始します。

5. 接続が完了すると、BlueSoleilのメイン画面に接続状態が表示されます。

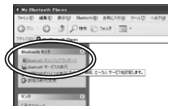
   一度接続が確立すると、リセット等を行わない限り、本製品とパソコンの接続は永続的に維持されます。



ペアリング操作　WIDCOMM BTWを使用する場合

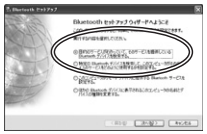
1. マウス裏面のIDボタン(ペアリングボタン)を押し、ホイールのLEDが点滅している状態で、デスクトップにある「My Bluetooth Places」アイコンをダブルクリックします。

2. 「My Bluetooth Places」ウィンドウの「Bluetoothセットアップウィザード」をクリックしてください。



ペアリング操作　WIDCOMM BTWを使用する場合（続き）

3. 「目的のサービスがわかっていて、そのサービスを提供しているBluetoothデバイスを検索する」という選択肢にチェックを入れ、「次へ」をクリックします。



4. HIDを選択し、「次へ」をクリックします。

5. 近くにあるBluetooth HID機器の検索を開始します。

6. デバイスが見つかると、Bluetoothマウスのアイコンがウィンドウに表示されます。
   Bluetoothマウスのアイコンを選択し、「次へ」をクリックしてください。

ペアリング操作　WIDCOMM BTWを使用する場合（続き）

7. Bluetoothセットアップウィザードがシステムに関するファイルを構成するまで数秒間お待ちください。接続が完了したら、接続の確認画面で「ここをクリック」を押し、操作を完了します。

一度接続が確立すると、リセット等を行わない限り、本製品とパソコンの接続は永続的に維持されます。

ペアリング操作　Mac OS Xの場合

1. マウス裏面のIDボタン(ペアリングボタン)を押し、ホイールのLEDが点滅している状態にします。

2. メニューバーのBluetoothアイコンをクリックし、「Bluetoothデバイスを設定...」を選択します。

3. 「Bluetooth設定アシスタント」が表示されたら、「続ける」をクリックしてください。

4. 「マウス」を選択し、「続ける」をクリックします。

ペアリング操作　Mac OS Xの場合（続き）

5. 「Bluetooth Mouse」が見つかったら、「続ける」をクリックして次のステップに進みます。

6. 「マウスを登録しています」というメッセージが表示されたら、「続ける」をクリックしてください。

7. 設定完了です。Bluetoothマウスが使用可能になりました。

   一度接続が確立すると、リセット等を行わない限り、本製品とパソコンの接続は永続的に維持されます。

ペアリング操作　TOSHIBA Softを使用する場合

以下の説明では、英語(中国語)版の画面写真を使用しています。
日本語版をお使いの場合は、日本語表示になります。

1. マウス裏面のIDボタン(ペアリングボタン)を押し、ホイールのLEDが点滅している状態にします。

2. タスクトレイの「Bluetooth」アイコンをダブルクリックしてください。

ペアリング操作　TOSHIBA Softを使用する場合（続き）

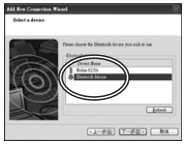
3. 設定画面が表示されます。
   「New Connection」ボタンを押して、設定を開始してください。

   ※パソコンの機種によって表示が異なる場合があります。

4. 「Express Mode」をチェックして、次の画面に進みます。

5. デバイスが自動的に検知されます。

6. 「Bluetooth Mouse」を選択し、次のステップに進みます。



ペアリング操作　TOSHIBA Softを使用する場合（続き）

7. 接続が開始されます。

8. 画面の指示にしたがい、次のステップに進んでください。

9. 接続が確立しました。接続名は任意で変更可能です。

ペアリング操作　TOSHIBA Softを使用する場合（続き）

10. 設定完了です。

11. Bluetoothマウスとパソコンの接続が確立し、接続を示すアイコンが表示されます。

    一度接続が確立すると、リセット等を行わない限り、本製品とパソコンの接続は永続的に維持されます。

本製品の使用方法

本製品にはホイールコントロール（ホイールが回転し、スクロールなどの操作が行える）機能があり、簡単に画面をスクロールすることができますので、マウス操作がより楽に行えるようになります。

本製品にはMicrosoft IntelliMouse互換機能がありますので、MS Office 97のようにIntelliMouse機能に対応しているソフトウェアで、幅広いナビゲーション（スクロール・オートスクロール・ズームなど）が行えます。

■左ボタン・右ボタン
左ボタンは通常クリック、ダブルクリックに使われます。右ボタンはアプリケーションごとに設定されているマウス動作を行ったり、コンテキストメニューを表示したりすることができます。左利きの方は、マウスのプロパティの「ボタンの選択」で、左右の機能を入れ替えることも可能です。

■ホイール（スクロール）
WWWブラウザや各種ドキュメントの画面をスクロールさせる際、このホイールを前後に回転させます。

■ホイールボタン（スクロールボタン）
このボタンをクリックしたままマウスを前後左右に少し動かすと、自動的に画面がスクロールし始めます。自動スクロールを止めるには、ホイールボタンをもう一度押してください。

■ズーム
「Ctrl」キーを押しながらホイールを回転させると、簡単にズーム（ウィンドウ内の表示倍率を変えること）できます。
「Ctrl」キーを押しながら▼
……ホイールをディスプレイ方向に回転させると、倍率が上がります。
……ホイールを手前方向に回転させると、倍率が下がります。

本製品の使用方法 （続き）

■スタンバイモード
マウスを操作中にマウスを動かさない状態がほんの少し続くと、スタンバイモードになります。マウスボタンを押すかマウスを動かすと、すぐに復帰します。

■スリープモード
マウスを動かさない状態が約2時間続くと、スリープモードになります。マウスボタンを押すかマウスを動かすと、少しの時間で復帰します。

「故障かな……」と思ったら

Q.マウス（マウスカーソル）が動かない。

A. 1. 電池が正しく挿入されているか確認してください。マウスの電源スイッチがOFFになっていないか確認してください。（5ページ参照）
2. 電池の残量が空になっているかもしれませんので、電池を交換してみてください。（5ページ参照）

Q.マウスをしばらく操作しないと、動かし始めた際に少し時間がかかる。

A. 本製品は、電池の消耗を押さえるため、しばらくマウス操作を行わないとスリープモードに入ります。マウスボタンを押すかマウスを動かすと復帰しますが、ほんの少し時間がかかります。

Q.マウスカーソルの動きがスムーズでない。

A. 鏡などの光を反射する素材や、ガラスなど透明な素材の上でご使用になると、マウスカーソルがスムーズに動かない場合があります。また、規則正しいパターンの上ではトラッキング性能が低下する場合があります。

Q. Internet Explorerでスムーズにスクロールできない。

A. Internet Explorerを起動し、「ツール」→「インターネットオプション」→「詳細設定」で、「スムーズスクロールを使用する」のチェックを外してください。

Q. Windowsのディスプレイモードをトゥルーカラーにすると、スクロールの動きがおかしくなった。

A. ハイカラーモードを選択してください。トゥルーカラーでは、CPUからデータを伝えるのに時間がかかるため、スピードコントロールの動きが遅くなります。

保証規定

1）保証期間内に正常な使用状態でご使用の場合に限り品質を保証しております。万一保証期間内で故障がありました場合は、弊社所定の方法で無償修理いたしますので、保証書を商品に添えてお買い上げの販売店までお持ちください。
2）次のような場合は保証期間内でも有償修理になります。
①保証書をご提示いただけない場合。
②所定の項目をご記入いただけない場合、あるいは字句を書き換えられた場合。
③故障の原因が取り扱い上の不注意による場合。
④お客様による輸送・移動中の衝撃による場合。
⑤天変地異、ならびに公害や異常電圧その他の外部要因による故障及び損傷。
3）お客様ご自身による改造または修理があったと判断された場合は、保証期間内での修理もお受けいたしかねます。
4）本製品の故障、またはその使用によって生じた直接、間接の損害については弊社はその責を負わないものとします。
5）修理ご依頼品を郵送、またはご持参される場合の諸費用は、お客様のご負担となります。
6）保証書は再発行いたしませんので、大切に保管してください。
7）保証書は日本国内においてのみ有効です。

最新の情報はWEBサイトで!! http://www.sanwa.co.jp/

■サポート情報　■ドライバのダウンロード
■よくある質問（Q&A）　■各種対応表
など、最新情報を随時更新しています。

ご質問、ご不明な点などがございましたら、ぜひ一度、弊社WEBサイトをご覧ください。

本取扱説明書の内容は、予告なしに変更になる場合があります。最新の情報は、弊社WEBサイト（http://www.sanwa.co.jp/）をご覧ください。

サンワサプライ株式会社

岡山サプライセンター／〒700-0825 岡山県岡山市北区田町1-10-1 TEL.086-223-3311 FAX.086-223-5123
東京サプライセンター／〒140-8566 東京都品川区南大井6-5-8 TEL.03-5763-0011 FAX.03-5763-0033
札幌営業所／〒060-0807 札幌市北区北7条西5丁目ストークマンション札幌 TEL.011-611-3450 FAX.011-716-8990
仙台営業所／〒983-0851 仙台市宮城野区福田1-6-37宮栄仙台ビル TEL.022-257-4638 FAX.022-257-4633
名古屋営業所／〒453-0015 名古屋市中村区椿町16-7カジヤマビル TEL.052-453-2031 FAX.052-453-2033
大阪営業所／〒532-0003 大阪市淀川区宮原4-1-45新大阪八千代ビル TEL.06-6395-5310 FAX.06-6395-5315
福岡営業所／〒812-0012 福岡市博多区博多駅中央街8-20第2博多相互ビル TEL.092-471-6721 FAX.092-471-8078

2009.09
09/09/KODaNo